

## 9条の碑 除幕

## 9条の精神を世代を超えてつないでいくシンボルに



## 『尼崎に9条の碑をつくろう！！』

尼崎医療生協の2024年度総代会方針で確認され、早1年6ヶ月が経過しました。

12月13日、9条の碑が尼崎医療生活協同組合あおぞら会館前に建碑され、130人が見守る中除幕式が開催されました。推進委員会 今西恵子委員長から「9条の精神を世代を超えてつないでいくシンボルにしたい」とあいさつがありました。松本真尼崎市長、ジャーナリストの伊藤千尋氏から祝電をいただきました。募金運動に協力した団体を代表し、尼崎医療生協 大澤芳清さん、母親大会連絡会 安田道子さん、日本年金者組合 大

村えみ子さん、尼崎市平和委員会 松岡宗治さんの4名にお祝いのことばをいただきました。

阪神センター合唱団・新婦人の会めだかサークル有志の方とともに、『約束のうた』『青い空は』を合唱し、未来の平和への誓いをたてました。除幕式最後には、推進委員 尾島紘之副委員長が式を締めくくりました。

憲法9条の条文が刻まれた裏面には、数字の9の穴の下に『ここからどんな未来がみえますか』とみなさんに問いかけています。みなさんのお子さん、お孫さん、将来の大人にどんな未来を残したいですか？



最終的に145万円を超える募金協力がありました。最後になりましたが、この運動をささえ応援してくださったすべての皆様にあつく御礼を申し上げます。

